

14

熱で変化！ プラスチックでアクセサリーを作ろう

しこくでんりょく とくしましてん でんりょくぶ しょうの かずひろ
四国電力(株) 徳島支店 電力部 庄野 和博

1. ねらい

透明なプラスチックに熱を加えると、波打ちながら3分の1くらいに縮みます。これは、プラスチックは引き伸ばした状態で製品にしているからです。ふつう、物質は加熱すると膨らみますが、プラスチックの場合は縮みます。

加熱する前に、パンチなどで小さな穴をあけ、油性マジックで絵や模様などをかいておけば、縮んだあとにその穴に糸をとおせば、アクセサリーが完成します。

2. 用意するもの

- 透明なプラスチック (プラ板) ・ 油性マジック ・ オープントースター ・
- アルミホイル ・ はさみ ・ 軍手 ・ 厚手の本 他

3. つくりかた

- 透明なプラスチックをはさみで切り、油性マジックで好きな絵や模様をかきます。
- アルミホイルを一度まるめてから広げ、オーブンの底にしきプラスチックが床につかないようにします。
- (1)で作ったプラスチックをオーブンの中に入れ、60秒くらい加熱します。
- 加熱すると、プラスチックは、いったん波打ちながら縮み、平らにもどります。
- 取り出したプラスチックは、少し波打っているのですが、厚手の本などに、はさんで上から手で押しつけます。プラスチックは熱いので、取り出すときには、軍手やわりばしなどを使いましょう。

4. 注意事項

プラスチックが熱くなるので、必ず大人の人と一緒にしましょう。

加熱前のプラスチック



加熱後のプラスチック

